

令和2年度 保護者向け 放課後等デイサービス評価表 集計結果

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	事業所側の対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	60(%)	33(%)	7(%)		活動室は、和室3室(7.5畳+7.5畳+6.5畳)+フローリングスペース(12畳)+廊下+調理スペースです。基準に対して必要な広さを確保しておりますが、利用する子供の数が増えたこともあり、活発に活動するためには十分とは言えません。体育館を借りたり、公園を利用したりと工夫しています。また、6月からは登米町に拠点を移します。現在より広いスペースを確保しております。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	79	21			職員の配置は常に基準を上回っており、十分な数を確保しています。発達障害の理解、支援方法の向上、虐待防止など各種研修を受けて、職員の専門性の向上に努めております。また、定期的に特別支援教育アドバイザーに来ていただき、支援の方法や活動の内容などを検討し、改善に努めております。引き続き、ご意見がありましたらお寄せください。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	65	28	7		既存の建物をお借りしておりますので、状況の許す限り改修を重ね、活動場所の改善を図っています。段差のある活動室ですが、バリアは体幹作りやバランスを整える機能訓練に生かしています。
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>放課後等デイサービス計画*1</u> が作成されているか	100				研修を受けた児童発達管理責任者が、サービス等利用計画書に沿った個別の支援計画を作成しています。契約時や6ヶ月ごとのモニタリングの時には、保護者の方のご希望をよく伺い、日頃の子どもの成長を鑑みて、その子にあった個別支援計画を作成し、保護者の同意の元に支援をしています。今後、専門職と連携して、客観的なアセスメントツールを活用して、より効果的な支援計画にしていく予定です。
	5	<u>活動プログラム*2</u> が固定化しないよう工夫されているか	100				指導員中心のチームで、月間スケジュールや日々の活動の段取りを考えています。活動項目は運動、音楽、科学、芸術、調理と多岐にわたり、季節ごとに歳時記を意識した活動も、すべて曜日を固定せずに行っています。また、子ども達の状況に応じて個別活動と集団活動を適宜組み合わせています。また活動室内(主に玄関や廊下の壁面)は子ども達の作品の発表の場として整備し、本人の意欲向上を図っています。現在はコロナ感染症予防対策のためできませんが、学校が休みの日は他施設へ出かけたり、イベントに参加したり、マルシェを企画したりと、幅広い活動でソーシャルスキルトレーニングができるよう工夫しています。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	65	28	7		奏海の杜は子どもを地域の中で育てるという理念を掲げています。6月から新拠点となる「交ゆう館 かなみ」はその理念に向けて大きな一歩を踏み出す場所となります。これからも、他事業所と合同のイベントを企画する、児童館と職員間の交流を図るなど、子ども達が交流できる機会を作っていきたいと思います。
	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	93	7			契約時、モニタリング時に、時間をかけて管理者/児童発達管理責任者が説明しております。期の途中での変更については、その都度お便りを出して周知を図っているつもりですが、ご不明な点がありましたらいつでもお問い合わせください。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができてきているか	100				保護者の方々とは送迎時や連絡帳でその日の子どもの状況を伝え合い、子どもの状態や課題について共通理解を図っております。今後ぜひお家での様子をにこま〜るに教えてください。

保護者への説明等	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	93	7		送迎時などその都度お話をさせていただいています。6か月ごとのモニタリング以外でも助言や面談は随時受付けております。お気軽に児童発達管理責任者にお声がけください。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	72	28		新拠点を開設するに至ったのは保護者の皆様の声がかっけでした。また、保護者会の回数を重ねるごとに夢が現実になるのを感じました。これからも、気軽に足を運べて情報が得られ、時間を作っても参加したいと思っただけの機会を定期的に開催しようと思っています。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	79	21		苦情に対する対応は、その都度誠意をもって行っております。人員や資金の面からご希望に沿えないことも多々あり、保護者の皆様にはご不便をおかけしているかと思っます。気になることがあればぜひお声がけください。引き続き体制を整え安定した活動を行えるよう精進してまいります。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	93	7		子ども達にもたせていただいている連絡帳が、にこま〜と保護者の皆様を繋ぐ大きなパイプです。スタッフは毎回必ず目を通し、にこま〜での様子を記入しております。ぜひ活用してください。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	93	7		毎月、会報「にこdeま〜」でその月の子ども達の様子と次月の活動内容を発信しております。不定期で発行している「かなdeま〜」は子どもたちの日々の活動を写真と文章で紹介しています。
	14	個人情報に十分注意しているか	100			個別支援計画や個人情報は子どもごとにファイルを作り、鍵のかかる書庫で保管しています。支援に必要な情報はスタッフ内で共有しますが、雇用契約時に個人情報の取り扱いについて、守秘義務の徹底を誓約書で取り交わしています。
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	79	21		施設として必要なマニュアルは整えていますが周知が足りませんでしたので、事務所の見やすい場所に設置して必要な時はいつでも見られるようにしました。今後は定期的にマニュアルの見直しを行い、必要に応じて皆で共有する場を設けます。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	72	28		避難訓練は子ども達とともに年に2回行っていますが、十分な回数ではありませんでした。放課後の短い時間の場合、送迎中の場合、職員が少ない場合など様々な非常時を想定して年6回を目標に行い、子ども達との意思疎通を深めたいと思います。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	93	7		子ども達の笑顔が支援者の活力です。にこま〜に通ってよかった！と思ってもらえるよう、その子にあった時間空間を創っていきたく思います。ご意見おまちしております。
	18	事業所の支援に満足しているか	100			保護者の方々の事情に合わせて早いお迎えや延長支援は行っております。また、祝日の営業もスタートしました。子ども達へのいい支援のためには、支援者の十分な休息が不可欠ですので、日曜日は今後も営業しない方針です。引き続き私たちのできる範囲を広げられるよう誠意努力してまいります。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。